

会長からのお願い

～在宅医療委員会の講演会にぜひご参加ください～

平素より神奈川県内科医学会の活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、ご案内状を同封致しましたが、在宅医療委員会主催の講演会を10月27日19時30分よりWEB形式（今どきはウェビナーWebinarと呼ぶそうです）で開催します。会員の皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

在宅医療委員会は、初代委員長の久保田毅先生ならびに副委員長の鈴木悦朗先生、塗木裕也先生、山口邦彦先生をはじめ熱心な委員の先生方のご尽力により委員会の基盤が構築され、活発な活動がなされてきましたが、今年度より世代交代して新しい体制になりました。

新委員長は磯崎哲男先生（小磯クリニック・横須賀市）、副委員長は横山太郎先生（横山医院・横浜市）にお願いし、新進気鋭の先生方に在宅医療委員会を牽引して戴くことに致しました。今回は新体制のもとで開催される初めての講演会です。委員会や講演会の性質上、共催スポンサーが得られないために委員の皆さんが手弁当で運営をおこないます。しかもCOVID-19の影響でウェビナーという不慣れな形式での開催を余儀なくされたため、委員の先生方はいろいろな所でシステムやノウハウを勉強されての開催になります。

今回の講演会の対象は現在在宅医療を実践している先生というよりは、むしろこれから在宅医療をやってみたいという先生です。高齢社会に伴い社会情勢や疾病構造が変化しており、われわれ臨床内科医の診療スタイルも変わってきています。在宅医療はこれからの内科診療には欠かせない診療形態だと思います。かく言う私自身は在宅医療をおこなっていませんが（すみません）、日常診療でかかりつけ患者さんの在宅医療を依頼するケースが増えてきています。在宅医療をおこなっていない医療者こそ「在宅診療とはどのようなものなのか」を知っておかなければなりません。また、在宅医療を志していても、診療形態やその方法、保険請求などわからない点や不安があるために躊躇しておられる先生もいると思います。ぜひ、今回の講演会に参加されて、実際に在宅医療をおこなっているエキスパートの体験談やアドバイスをお聞き戴きたいと思います。演者は磯崎委員長と横山副委員長ですが、お二人ともかなり気合いが入っています。乞うご期待！

皆様、日常の診療がお忙しいとは存じますが、ぜひ本講演会にご参加を戴きますよう、会長からもお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年8月8日

神奈川県内科医学会
会長 金森 晃